

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第22号です。  
当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行  
東北風景写真家協会  
〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-8-1  
勾当台ビル1階 エーゼット・フォト内  
Tel 022-722-3755, Fax 022-722-3766  
編集 秋葉・進藤・藤枝

## 東北風景写真家協会 第7回定期総会報告

1月20日(日)第7回定期総会を仙台市・戦災復興記念館4階研修室を利用して開催しました。総会に先立ち昨年に引き続き角館から小松ひとみプロをお招きし、スライド&トークセミナー「写真の話いろいろ」を開催。前回好評でしたので今回は満席になりました。「別欄に要約を記載」総会は提出された議事・議案は全て承認され無事終了いたしました。当日セミナー及び総会のお招きにも出席できなかった会員の方には当日配布した総会資料をメールにてお送りさせて頂きました。

総会は午後4時15分よ 況報告を説明。  
り佐々木康照監事の司会で開会宣言。竹内会長のご挨拶から始まりました。「当協会は平成18年に発足して以来7回目の総会を本日迎えることが出来ました。その間東日本大震災を受け、被災された石巻市の北上をはじめとして出来る限り支援活動を続けてきており、今後も各地のボランティア活動を継続してゆきたいと思っております。役員、幹事、並びに会員皆様のご協力を得てより一層充実した会の運営に努めてまいります」とご挨拶頂きました。



加者の費用負担が必要であり人数の把握等の問題が検討中。撮影会は過去に八甲田や南湖公園・裏磐梯・那須方面を実施し、行きたる地域を企画している旨説明し(4)(5)案を一括承認を得ました。

(7)その他の議事は特に出席者56名、委任状31名、在籍会員104名)総会の成立を報告。議長選出で参加会員より事務局長の発言があり、丸山副会長を選出。議長挨拶の後議事に入った。

加者の費用負担が必要であり人数の把握等の問題が検討中。撮影会は過去に八甲田や南湖公園・裏磐梯・那須方面を実施し、行きたる地域を企画している旨説明し(4)(5)案を一括承認を得ました。

(7)その他の議事は特に出席者56名、委任状31名、在籍会員104名)総会の成立を報告。議長選出で参加会員より事務局長の発言があり、丸山副会長を選出。議長挨拶の後議事に入った。

加者の費用負担が必要であり人数の把握等の問題が検討中。撮影会は過去に八甲田や南湖公園・裏磐梯・那須方面を実施し、行きたる地域を企画している旨説明し(4)(5)案を一括承認を得ました。

(7)その他の議事は特に出席者56名、委任状31名、在籍会員104名)総会の成立を報告。議長選出で参加会員より事務局長の発言があり、丸山副会長を選出。議長挨拶の後議事に入った。

今年も写真誌や河北写しを掲載し、スライド&トークセミナー「写真の話いろいろ」を開催。前回好評でしたので今回は満席になりました。「別欄に要約を記載」総会は提出された議事・議案は全て承認され無事終了いたしました。当日セミナー及び総会のお招きにも出席できなかった会員の方には当日配布した総会資料をメールにてお送りさせて頂きました。

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

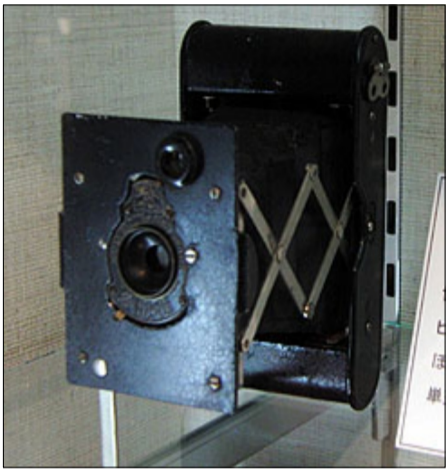
協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

協会の繋がりのある師としてボランティアで参加の会員や自家用車にて石巻市北上地区で、12月2日(日)の回、会員及び一般の方も参加の会員と合流。北上日程で震災復興支援セミナーを開催。前日スライド&トークセミナーを行って頂戴した清水哲朗プロも特別講

写真の歴史(Ⅰ)

毎日楽しんでる写真についての歩みを調べてみました。世界最初の写真は1824年にフランスのニセフォール・ニエプスが開発したヘリオグラフィで、感光材にアスファルトを使用、撮影に8時間も要しました。実用化したのは1839年、フランスのダゲールが完成したダゲレオタイプからで、銅板の上に銀メッキを塗った板を感光させることから、銀板写真と呼ばれます。現在は感光材に臭化銀などを使用していますが、基本原理は今も一緒です。感光時間が10〜30分要し



ヴェストポケットコダック

可能な複製が可能となった。1851年イギリスのフレデリック・スコット・アーチャーがコロジオン法の湿板タイプを開発、露光時間は5〜15秒で複製も可能。しかし以前、イギリスのタールボットがコロタイプを發明(但し特許取得は1841年)これが史上初のネガ・ポジ写真で、1分ほどで撮影1871年、イギリスのリチャード・リーチ・マドックスが乾板写真を発明。ついに動きのあるものが撮影可能になりました。乾板は1878年には工業生産され、湿板を駆逐。ここでコダックが1880年(明治13年)、ジョージ・イーストマンによって乾板メーカとして創業されました。コダックは1885年には紙をベースにした世界初のロールフィルムを開発、エジソンと協力し映画フィルムの基礎を作り、このとき企画化された35mmフィルムが現在でも基本となった。1888年コダック初めのカメラが登場。ロールフィルムで100枚撮影可能。このカメラが庶民にまで写真を普及させた。1889年にはセルロイドを使ったフィルムを開発。この發明で映画が長足の進歩を遂げるのですが映写機の熱で発火するなどの問題を抱えていました。その後、アセチルセルロースを使用した不燃性フィルムが誕生します。

この度初の個展を開きました。私がカメラを持ったのは、平成2年の2月から約22年撮影を続けております。「ほんわ館」という昨年新しくオープンした私の住む中山町の図書館です。その中のエントランスギャラリーで展示しました。10月中旬、スカイ館長さまからお話を頂いたときは驚きと楽しさが入り混じった心境でした。それから11月21日〜29日までの写真展準備におおわらはです。コンセ

たため人物写真は撮りたくかったが、風景写真は美しく撮影できた。ただし焼き増しは不可。ダゲレオタイプ以前に、イギリスのタールボットがコロタイプを發明(但し特許取得は1841年)これが史上初のネガ・ポジ写真で、1分ほどで撮影1871年、イギリス

可能な複製が可能となった。1851年イギリスのフレデリック・スコット・アーチャーがコロジオン法の湿板タイプを開発、露光時間は5〜15秒で複製も可能。しかし以前、イギリスのタールボットがコロタイプを發明(但し特許取得は1841年)これが史上初のネガ・ポジ写真で、1分ほどで撮影1871年、イギリス

箱根写真美術館は、2002年に写真家遠藤桂氏により私設美術館として開館された。箱根登山ケーブルカー「公園下駅」近くの閑静な住宅街の静かな佇まいのなかにあり、エキゾチックな雰囲気の中にミュージアムショップとカフェが併設されている。一階は円形ギャラリーとなっており遠藤桂氏の箱根からの富士山の作品が展示されている、山梨県側から撮影

写真美術館めぐり 箱根写真美術館

箱根写真美術館は、2002年に写真家遠藤桂氏により私設美術館として開館された。箱根登山ケーブルカー「公園下駅」近くの閑静な住宅街の静かな佇まいのなかにあり、エキゾチックな雰囲気の中にミュージアムショップとカフェが併設されている。一階は円形ギャラリーとなっており遠藤桂氏の箱根からの富士山の作品が展示されている、山梨県側から撮影



な住宅街の静かな佇まいのなかにあり、エキゾチックな雰囲気の中にミュージアムショップとカフェが併設されている。一階は円形ギャラリーとなっており遠藤桂氏の箱根からの富士山の作品が展示されている、山梨県側から撮影

始まりはとて不安と心の皆様方、また多くの諸先輩方に、今となっては被写体やギャラリーのパネルの大きさを勘案して半切、四つ切でラリーの下見をして構想を練り、試行錯誤を繰り返しながらも、段々と勇気と自信が湧いてまいりました。写真サイズは案内状に使った東風協企画撮影会での富士山の全紙

今号から秋葉編集長のお手伝いをします藤枝です。主に2面を担当します。新しく立ち上げたホームページとともに会員の皆様の情報交換・交流の場として紙面を作りたいと思っています。従前にも増してご協力お願いいたします。

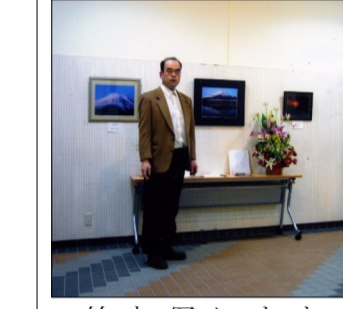
「ゴミ」として片付けられてしまう。皆さんもいままで撮影したフィルムやプリント、そして写真機材が山をなしているのでしょうか。きれいに整理されているでしょうか、自分なりの整理で、とても人が判別できるような整理ではないでしょうか。受け取る側は「何これ？」なのです。

この先が、興味ありますね。私のコラムの許容字数はここまでです。つづきを来季号とすると、内容が色褪せてしまっているので、つづきを知りたい方は、お知らせ下さい。お送りいたします。(丸山真一)

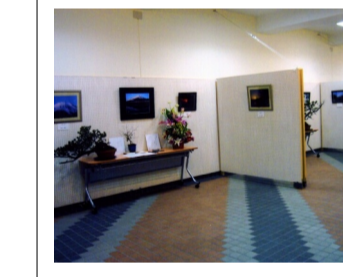
久しぶりの東京でした。天気もよくスカイツリーもよく見えて、東京もいい街だな、と外面だけ見て感じました。実際住んだら大変そうだけども。ところで、東京へ行った目的は、お堅いセミナーの拝聴でした。お題は「画像保存セミナー」主催は「日本写真学会」いかにもお硬そうな、です。朝9時から夕方6時まで、お昼をはさんで8個の学術的考察をお聴きました。最初から7つ目までは、お偉い学者さんや大学教授、研究員の方々が長年研究していた「画像保存」についての研究発表で、難しい(はっきりいって解らない)化学式や検証データの羅列で、聴いているそばから忘れ、眠くなるものでした。画像についてカビの化学式とか、保存環境の条件別検証の考察とか、もうちょっと私にその素養があつたなら、眠くはならなかつたのでしょうか。

保存に関する考察とお堅いですが、内容は「アマチュアの皆さん、ご自分の写真はどのようにしての。どうするの」という話です。前段のセミナーにおける「カビ」の話や「保存環境」の話は大切ですが(たぶん)、自分の写真の原板やデータは将来どうするか、も大きな問題だと思うのです。撮った本人が一番、価値を評価しているのでしょうか、それを受ける、または置き去りにされた？押し付けられた？家族は同じ評価をするのでしょうか。ほとんどが価値として評価しない

29日までの写真展準備におおわらはです。コンセ



かながらの松柏の盆栽と色紙を添えました。来館して頂いた方々の感想には、拙い写真にもかかわらず多大な褒め言葉を記されて頂き、望外の嬉しさです。



うか。撮る人、写す人、見る人それぞれに、同じ写真が自分の想っている以外の違った感覚が受けられるかもしれません。最後になりませんが、今回の写真展にあたり、多大な協力を頂きました、竹内会長をはじめ役員

「写真の難しい話 第二〇話」

今号から秋葉編集長のお手伝いをします藤枝です。主に2面を担当します。新しく立ち上げたホームページとともに会員の皆様の情報交換・交流の場として紙面を作りたいと思っています。従前にも増してご協力お願いいたします。

編集後記